

みなさん、こんにちは。早くも一月が終わりを迎えようとしています。今月私のいるサドバリーという地域では、この冬初めての Snow Day がありました。バスが運行しない為学校に行かなくて良い Snow Day は多くの子供達が望む日です。

こちらカナダのイメージと言えはとも寒くて多くの雪が降るといった所でしょうか。確かに私自身、カナダの朝夜の冷え込みが厳しくとても寒いように感じます。しかしながら、驚くべきことにこの冬はあまり雪が降りません。雪が降ってもそれは粉雪のようなもので、中々積もらないのです。その為、この冬初めての Snow Day は一月中旬という例年に比べてかなり遅い結果になりました。Snow Day で学校を休んだ日には雪かきの手伝いをしました。これは私にとって初めての経験で想像以上に体力を要するものでした。雪と言っても積もればかなり重く、車を動かすスペースのみの除雪でも相当時間がかかりました。良い経験になりましたが、翌日は腕の筋肉痛に悩まされました。これを例年は頻繁に行う雪国の人を尊敬します。

学校では、Magic Paws という子犬達が学校にやってくるというイベントがありました。これは生徒のメンタルヘルスケアを目的にっていて、学校で行われる簡易ドッグセラピーのようなものになります。合計十匹ほどの犬とそのスタッフさんが学校の体育館に来てふれあいの時間を設けてくれました。Puppy (子犬) が来ると聞いていたのですが、実際にはそこそこ育ったように見える大きな犬達が来ました。近くにいたスタッフの方に犬の年齢を聞いてみると六歳だと答えられ、子犬かは少し疑問の残る部分があるのが正直な感想です。しかし、どの犬も可愛らしく生徒達が楽しんでいたので良いイベントだと思います。

そして一月で一番の学校イベントは期末テストです。カナダの学校は日本と異なって三学期生ではなく二学期制で、一月に First semester が終わりを迎えます。その為、一月の最終週はテスト週間になります。二学期制である分テストの数は少ないものの、一回のテストで学習する必要のある分量の多さに圧倒されます。幸い、私がこの学期でテストを受ける必要のある教科は理科の一科目のみだったので比較的気楽でした。それでも、テストのない他の科目からは Culmination や Project と呼ばれる大きな課題が出されるので学期終盤は忙しかったです。私はそれらに懸命に取り組んだので、自分の中で満足のいく成績を収められたと思っています。

二月からは新しい学期が始まります。異なる授業内容、新しい生徒や先生、どれもが今までと変わる新鮮なものです。不慣れなものに対して少し不安や緊張を感じる部分もありますが、自分のベストを尽くそうと思います。遂に留学生活も終盤、精を出していきたいです。